

Tomomi  
Shinozaki

Tomoya  
Kikuchi

Kaoru  
Ono

Kazuhisa  
Ogawa

ハナミズキ室内合奏団  
～小川有紀子とその仲間たち～  
**結成1周年  
記念演奏会**

〔ゲストプレイヤー〕  
横山幸雄

Yukio  
Yokoyama

Yukiko  
Ogawa

©アールアンフィニ

最高峰のピアノカルテット!至宝が織り成す響きをご堪能ください。

**2019.6.30** 日 開場 13:30  
軽井沢大賀ホール 開演 14:00

Player 〈ピアノ〉横山幸雄 〈ヴァイオリン〉小川有紀子  
〈ヴィオラ〉篠崎友美 〈チェロ〉菊地知也

Program

♪コダーイ 弦楽トリオの為のインテルメッツォ  
♪メンデルスゾーン 無言歌より  
Op.19-1 甘い思い出, Op.19-5, Op.30-6 ヴィネツィアの舟歌, Op.62-6 春の歌  
♪アザラシヴィリ 無言歌  
♪シューベルト アダージョとロンド・コンチェルタンテD.487  
♪ブラームス ピアノ四重奏曲第1番Op.25

**2019.7.26** 金 開場 18:30  
東京文化会館小ホール 開演 19:00

Player 〈ピアノ〉横山幸雄 〈ヴァイオリン〉小川有紀子  
〈ヴィオラ〉大野かおる 〈チェロ〉小川和久

Program

♪シューベルト 弦楽三重奏曲第1番D.471 断章  
♪バッハ インベンションより No.1,15,14,12,11,8,7  
♪モーツァルト ピアノ四重奏曲第2番 変ホ長調K.493  
♪フォーレ ピアノ四重奏曲第1番Op.15

**チケット一般発売中** 両公演ご覧いただけるパスポートチケットがお得です!  
発売対応は、軽井沢大賀ホールチケットサービスと、ハナミズキ音楽事務所HPでの取り扱いです。

券種	一般		学生		パスポートチケット (一般/学生)
	軽井沢大賀ホール	東京文化会館小ホール	軽井沢大賀ホール	東京文化会館小ホール	
SS席	7,000円		5,600円		
S席	6,000円		4,800円		10,800円/8,600円
A席	5,000円		4,000円		9,000円/7,200円

※料金は全て税込み。※未就学児のご入場はお断り致します。

当日券は500円増しになります。

チケットの  
お申し込み

○チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:147-950) ○eplus https://eplus.jp/hanamizuki-sendai/ ○ローソンチケット 0570-084-002 (Lコード:35017)  
○ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 http://www.japanarts.co.jp/ ○東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ○軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555  
○株式会社ハナミズキ音楽事務所ホームページ http://hanamizuki-sendai.com/ TEL:070-2644-6015 MAIL:hanamizuki@ac.cyberhome.ne.jp

《主催・お問い合わせ》 株式会社 ハナミズキ音楽事務所

《協力》 ジャパン・アーツ





## ハナミズキ室内合奏団 結成1周年のご挨拶 主宰 小川 有紀子

「ハリリー・ポッターと秘密の部屋」でダンブルドア校長はハリリーに語ります。  
「自分が何者であるかを決めるのは持っている能力ではなく、どのような選択をするかということなんじゃよ」  
ハナミズキ室内合奏団を立ち上げて1年が経ちました。室内合奏団メンバーの強力なサポートの下、音楽的な理解もより多角的になり、自分でも変化を実感しています。

大きなホールでのコンサートから、アウトリーチコンサート、東日本大震災復興支援コンサート、北海道胆振東部地震被災地厚真町での山の前の道まで音楽を届けてまいりました。たくさんの出会いと笑顔を頂戴したことが私の原動力になっています。  
2年目にあたり最初に決断した大きな選択、それは横山幸雄さんをゲストに迎えたことでしょうか。高校時代から30年余り見てきましたが、音楽的、人間的にも素晴らしい方です。コンサートではピアノ曲を弦楽器で弾いてピアノとつなげる新しい解釈を含め、バラエティーに富んだプログラムをご用意しました。  
どうぞ私たちの新たなページをご覧ください。



### 横山 幸雄 (ピアノ)

1990年ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。ポーランド政府よりショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行ったことで100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」を授与される。2010年、「ショパン・ピアノ独奏曲 全166曲コンサート」を行い、ギネス世界記録に認定され、翌年「212曲」を演奏して記録を更新した。2015年、ラヴェル生誕140年を記念し、パリでラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会を開催。2018年にはトランス・シベリア音楽祭ではムストネン指揮ノヴォシビルスク交響楽団との共演、ライブシビにてゲヴァントハウス弦楽四重奏団の定期公演、パレテフスキ協会の招きによりポーランド国内でのリサイタル、10月には上海フィル定期公演への登場、2019年3月にはルイー・ジ指揮デンマーク国立交響楽団との共演など海外での活躍も多い。リリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際Fリスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄える賞を受賞。横山幸雄・ブレイルによるショパン・ピアノ独奏曲全曲集(全12タイトル/キングレコード)他、アール・アンフィニ・レーベルより多数リリースし、レコード芸術誌では連続して特選盤となっている。また、最新CDは「横山幸雄 / ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 他」(共演: 下野竜也指揮 / 新日本フィル)、「横山幸雄 / ドビュッシー: 前奏曲第1集・第2集(全24曲) / パレテフスキ名曲集」など。2020年ベートーヴェン生誕 250周年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」の開催や「4大ピアノ協奏曲の一挙演奏」といった意欲的な取り組みが注目を集め、高い評価を確立している。2019年5月3日～5日には東京オペラシティコンサートホールにて、横山幸雄「入魂のショパン10周年」を記念し、ショパンが生産して作曲した240曲の作品(独奏曲、協奏曲、声楽曲、室内楽曲)をすべて演奏するという前人未踏のプロジェクトを開催。東京と京都にレストランをオープンし音楽と旬の食をプロデュースするなど、活躍は多岐にわたる。エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、パレテフスキ協会会長。



### 小川 有紀子 (ヴァイオリン)

大阪府箕面市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。東京藝術大学首席卒業。英国王室音楽院の大学院を首席卒業。第36回全日本学生音楽コンクール西日本大会中学校の部第1位。第58回日本音楽コンクール入選。東京現代音楽祭室内楽コンクール第1位、併せて第1回朝日現代音楽賞を受賞。第7回東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位、併せてルフトハンザ賞を受賞。英国王室音楽院の大学院へ留学。英国王室音楽院コンチェルトコンクール第1位、ハイドントリオ賞を受賞。メンデルスゾーン協奏曲コンクール第2位。当時の音楽院院長で世界的なチェリストでもあるリン・ハレル氏と数回にわたって室内楽を共演。朝日現代音楽賞受賞記念リサイタル。第28回ティール・ヴァルカ国際ヴァイオリンコンクール第4位。ジュネーブにて受賞者コンサートに出演。ロンドン・セント・ジェイムズチャーチにてリサイタル。京都アマティホール、四日市四郷地区文化センター等にてリサイタル。NHK-FMリサイタル、竹ノ塚レクチャーコンサート出演。東京文化会館小ホールにて東京でのデビューリサイタル。ヴェルティ文化振興財団より年間最優秀演奏者賞「マイスター」を受賞。日本演奏連盟山田康子奨励・助成を得てカザルスホールにてリサイタル。2001年仙台フィルハーモニー管弦楽団入団。セレーノ弦楽四重奏団で原村音楽セミナー「緑の風音楽賞」受賞。緑の風音楽賞受賞記念リサイタル。2017年「小川有紀子リサイタルシリーズ」スタート。これまでに、ヴァイオリンを東儀幸、矢島佳子、日高毅、澤和樹、ジョルジュ・バウク各氏に師事。室内楽の指導を岡山潔氏に受ける。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン副首席奏者。オホーツク紋別音楽セミナー講師を2016まで務めた。また2008年～2016年まで東京藝術大学非常勤講師を務めた。仙台ヴァイオリンセミナー主宰・ハナミズキ室内合奏団主宰。

## 軽井沢大賀ホール公演メンバー



### 篠崎 友美 (ヴァイオリン)

京都府出身。桐朋女子高校音楽科を経て、1995年桐朋学園大学を首席で卒業。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門において「斎藤雄雄賞」受賞。1994年ライオン・ターティス国際ヴァイオリンコンクールにおいて特別賞を受賞。1997年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞。ソリスト、室内楽奏者として幅広く活躍しており、アスペン音楽祭、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、木曾音楽祭、北九州国際音楽祭など数多くのフェスティバルに出演している。2002年より新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務めており、紀尾井ホール室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラなどのメンバーとしても活躍している。



### 菊地 知也 (チェロ)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て1986年東京藝術大学卒業。第6、8回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。1991年第60回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、特別賞受賞。1994年第4回日本室内楽コンクール第1位、併せて東京都知事賞受賞。1994年第1回全日本ビバホールチェロコンクール第1位。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、湯布院音楽祭、木曾音楽祭、ひるびる音楽祭、オホーツク音楽祭、沖縄ムービー・ミュージック・フェスティバルなど多くの音楽祭に参加している。また、紀尾井ホール室内管弦楽団、アンサンブル・ノマド、アクロス弦楽合奏団、カルテット・ブラチナム、パロック21、アンサンブル・ロココのメンバーとしての室内楽活動やソリストとしても活躍。全国各地のコンクールの審査員も務め、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト、日本チェロ協会理事。



### 大野 かおる (ヴァイオリン)

日本を代表するヴァイオリン奏者の一人。15歳でヴァイオリンに転向する。東京藝術大学音楽学部付属音楽高校、同大学を経て同大学院修了。在学中より活発な演奏活動を開始。学内のモーニングコンサートでは芸大フィルハーモニアとダヴィッドのヴァイオリン協奏曲を日本初演。ターティス国際ヴァイオリンコンクール(イギリス)では2つの特別賞を、東京国際音楽コンクール「室内楽」では第一位入賞、併せて2つの特別賞も受賞する。ソロと室内楽を中心に国内外で幅広く活躍。アンサンブル・ofトウキョウでは1986年の創立以来、ソロ・ヴァイオリン奏者としての重責を担う。これまでに著名なアーティストとの共演は数え切れず、常に高い信頼を得ている。また弦楽四重奏の活動にも力を入れており、現在はカルテット・ブラチナムのメンバーとして活躍。演奏活動の傍ら、東京藝術大学、東京音楽大学などで後進の指導にも力を注ぎ、大阪芸術大学大学院客員教授も務める。



### 小川 和久 (チェロ)

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ボルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ボルドー市米賞賞を受賞した。2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール)ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ボルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Cellox, TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコンクールにも参加。アンサンブル・インストゥルメンタル・ドゥ・コルス(コルス)の首席奏者を務め、2011年4月から山形交響楽団の首席奏者に就任したほか、プレジヤス・カルテット、チェロロックトリオ・カンターナ、長岡京室内アンサンブル、山形チェンバロー・ミュージシャンズなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。これまでに千本博愛、Etienne PECLARDの各氏に師事。

## 東京文化会館小ホール公演メンバー

## ドッグウッド (Dogwood) 基金サポーター募集

### 【ドッグウッド (Dogwood) 基金】

東日本大震災等、多くの被災地での復興支援演奏会を開催するための基金です。

※ドッグウッド (Dogwood) はハナミズキ英名です。

その語源は17世紀頃ハナミズキの樹皮を煎じたエキスを犬のノミとりの薬として使用されたことから名付けられたそうです。

私たちは、復興支援演奏会で『寄り添う心』『忘れぬ心』をメロディーに込めて、被災地に音楽をお届けする活動を続けてまいります。

お振込み口座：七十七銀行 本店営業部 普通口座 5052550 株式会社ハナミズキ音楽事務所

(ご参考)復興支援演奏会の1公演当たりの経費は、地域や編成規模によって変化しますが、総額は、概ね20万円から80万円必要です。復興支援演奏会を資金面で支えますようお願い申し上げます。

ハナミズキは街路樹や庭を飾る一般的ななどこにでも見られ広く愛され、四季折々、命の尊さが感じられる樹木です。

「春」にはピンクや白の可憐な花を咲かせ、

「夏」には特徴のある新緑に変わります。

「秋」には紅に染まる紅葉と実り秋を感じさせてくれる赤い実をつけ、

「冬」にはその立ち姿が凛とした佇まいで春に備える力強さを感じさせてくれます。

ハナミズキ音楽事務所も、いつでも皆さまの身近な存在でありながら、その折に触れ、感動いただける存在であり続けます。

## ハナミズキの花言葉

私の想いを受け止めてください  
永続性・返礼・公平にする

お客様との出会い...という繭(まゆ)から、演奏を通して少しずつ太い絆に紡いでいく。

吐き捨てられた音楽ではなく、シルクのような肌触りでほんのりと優しい気持ちにさせてくれる演奏とパフォーマンスをご体験ください。

圧倒的な演奏技術に裏打ちされ、豊富な経験をあわせ持ったハナミズキ室内合奏団メンバーやハナミズキ室内合奏団団友の生きた本物の演奏をご提供します。